

○地域防災と自主防災 いざというときには 地域の防災力が重要

地域では、日ごろから防災活動をしている町消防団があります。消防団は火災の消火活動や予防啓発をはじめ、消火栓や消防器具の点検、操法訓練などを行っています。また、地域の実情に詳しいことから、災害時には、避難誘導や情報収集、危険地域の警戒など大きな力になります。



▶**防災倉庫** 町内12箇所に設置され、避難時の食料、毛布、簡易トイレなどが蓄えられています。

しかし、大きな災害では、ほとんどの人が被災者になり、行政や消防だけでは、活動に限界が生じることも予想されます。地域に精通した自治会の自主防災組織が充実すれば、被災者同士が助け合え、地域住民の家族構成や特に被災者になることが多いお年寄りや体に障害がある人などの情報を収集することもでき、行政との連絡体制の強化が図られます。

しかし、大きな災害では、ほとんどの人が被災者になり、行政や消防だけでは、活動に限界が生じることも予想されます。地域に精通した自治会の自主防災組織が充実すれば、被災者同士が助け合え、地域住民の家族構成や特に被災者になることが多いお年寄りや体に障害がある人などの情報を収集することもでき、行政との連絡体制の強化が図られます。



▶**消防団の消火活動** 火事だけでなく災害時にも活躍します。

○小さな力を一体化！ 防災力で大災害を迎え撃つ

災害は予測することが困難です。被害を最小に食い止めるには、一人ひとりが防災に心がけることや、みなさんが協力し防災力を高めることが大切です。

一人ひとりが別の行動をとってしまつと、大きな混乱を招くこととなります。自身の安全を確保し、周囲



▲中台地区で再編成された自主防災組織。昼間の消防団員不在時の災害に備えます

や自治会内で助け合い、行政や消防と協力し一体化することで、効果的で安全な防災活動が展開でき、被害を小さくすることにつながります。

また、災害時でも冷静に行動ができるよう、防災訓練への参加や避難路の確認、非常時持出袋を用意するなど防災意識を高めましょう。

◆問い合わせ

環境防災課防災班
☎ 04 1 2 1 6

図書館ギャラリー 阪神大震災写真展

とき 8月30日(土)～

9月28日(日) 月曜休館

9月2日(火) 館内整理

日にて休館

午前9時30分～午後5時

30分

世界各地で悲惨な災害が多発しています。私たちは何を備え、何を心づもりしていればよいのでしょうか。耐震に対する建築や防災グッズは進化しています。あらためて家やご近所の環境を見直せるよう、阪神大震災の写真・パネル約40枚が展示されます。



◆問い合わせ

図書館 ☎ 04 3 3 1 1